



明蓬館高校は 2009 年 4 月、閉校となった旧安宅小学校を活用して開校した広域通信制高校です。

インターネットをフルに活用し、定期テストではなく成果物で学習を評価、年4日間安宅に宿泊しスクーリング（面接授業）を受ける学習システムです。

### 明蓬館高校 第二回卒業式

安宅の梅の花が凛と咲く3月12日、川崎町本校にて第二回卒業式が滞りなく執り行われました。式前日 本校、品川キャンパスで会場設営をしている最中に地震はありました。管理人室のテレビでみた津波の大きさに体が震えました。品川キャンパスとは、固定電話、携帯電話が途絶えスカイプのみの通信となりました。緊急職員会議を行い、品川キャンパスでの卒業式は中止にし、本校のみでささやかに行うこととしました。品川キャンパスの生徒、教職員はその日、品川キャンパス内に宿泊し難し、翌日無事自宅に帰れたそうです。

本校の卒業式は、まず犠牲となられた方々の冥福をお祈りし厳粛に始めました。卒業生11名（本校所属3名）がこの日、巣立って行きました。

明蓬館での出会いと体験を糧にそれぞれの場所で羽ばたいてほしいです。

第二の故郷川崎町へいつでも遊びに来て下さい。



川崎町手嶋町長を始め議会、行政、地域の皆さまがたくさん集まり卒業を祝って下さいました。  
 一年を通して、陰になり日向になりご支援していただきました。  
 心よりお礼申し上げます。

第三次募集：願書受付中

**成田校長のお耳を拝借**  
 卒業を迎えるにあたり、今一度卒業に際して大事なことを一緒に考えてまいりましょう。それは学びにとって欠かせない読書、本を読むという習慣についてです。  
 私は定年退職を機に一つの決心をしました。「専門書は棄てて、まだ読んでいない本を読む」、「学生時代に心に残った本を読み直す」ということです。いま、すっきりした本棚にはこれから読みたい本が積んであります。高校時代に、一教師より「沢山の小説を読むように」と言われたのが私の読書のきっかけとなりました。それ以来、受験勉強の傍ら、大学での予習復習の合間に随分読むことができました。  
 卒業おめでとう。  
 校長 成田滋

校章のコンセプト

「@」をモチーフに図案化。そこから伸びゆく新芽と中心に配した笑顔は、卒業する頃には自分の立ち位置を見つけ強く明るい人間になってほしいという学校の願いを表現しています。

東北地方太平洋沖地震に関するお見舞い

このたびの東北地方太平洋沖で発生した巨大地震により、多くの地域の方々への被害が発生いたしました。犠牲となられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く普段の生活に戻れますよう、皆様のご無事を心よりお祈り申し上げます

明蓬館高校では、募金活動を始めました。川崎町でも義援金箱が作られ本校のある安宅交流センターに設置されています。被災地の皆さまに想いを寄せ復興の日を信じながら、私たちは今出来ることをしっかりとしていきます。

さて、今回が今年度のめいほうかん便り～安宅の風～最終号となります。拙いお便りでしたが12ヶ月間発行できたことと、ご購入いただきましたことに心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。副校長 小賀友子



川崎町では、当校学校審議委員であります川食の社長さんのご協力を得てカップラーメン等の保存食1万5千食を空輸にて送りました。出発式の様子です。



式後はスクーリング農家料理交流会でいつもごちそうしていただいている、以心田心加工部のおばちゃん達の手料理を来賓の皆さまと一緒にいただきました。メニューは春野菜散らし寿司(かまどご飯)、無農薬赤飯、たかな炒り、澄まし汁。愛情たっぷりのご飯に心も満腹になりました。この味忘れません。

日野理事長のひとりごと  
 卒業生に贈ることば

これからの時代、数多くの社会的課題が目の前に横たわっています。皆さんは非常に厳しい環境に身を投じることとなります。時には「我慢」や、「忍耐」という経験も積むこともあるでしょう。

しかし、厳しい側面だけでなく、人間の持つ良心がまわりを動かし、社会を動かすこともできる時代になっていることも忘れてはいけません。こんな時代だからこそ、どうか、恐れず、ひるまず、前向きにチャレンジしてください。

どんな経験も必ずみなさんを育ててくれます。

理事長 日野公三